




絵画コンクール「支部長賞」
「だいすき!おともだち」鶴崎 史菜(いずみ幼稚園)



ふれあいの窓

かごしまJRC

発行所
鹿児島県青少年赤十字
指導者協議会

事務局
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鳴池新町1番5号
電話(代表)099-252-0600

誰とでも仲良くなれる人になろう

青少年赤十字指導者協議会
会長 森吉 研一



青少年赤十字
創設白周年を迎えた令和四年、ロシアはウクラ

イナへ軍事侵攻を開始しました。平和を願う赤十字と青少年赤十字は、戦争をきっかけに結成されました。「命を大切にしてほしい」「世界中の誰とでも仲良くなれる人になろう」という願いが込められていますが、世界の幸せと平和につながってほしいという願いを込め、各国の赤十字社に「少年赤十字」の結成が勧告され、百年が経過したのです。

しかし、いまだに世界各地で戦争が起こっています。「誰とでも仲良くなれる人になろう」という青少年赤十字の願いは、実現していません。

このような現状を考えると、「気づき、考え、実行する」を合言葉に、命を大切にする「健康・安全」や人のために尽くす「奉仕」の

青少年赤十字

実践目標
健康・安全、奉仕、国際理解・親善

態度目標
気づき、考え、実行する

精神を学び、国境を超えて助け合う「国際理解・親善」を進める青少年赤十字活動が、世界中の子どもたちに広がり、幸せと平和へとつながることを願うばかりです。

コロナ禍となり三年が経過しました。青少年赤十字活動を、感染予防の知恵を出し合いながら継続できたことを嬉しく思います。今後も、「誰とでも仲良くなれる」青少年赤十字の推進を図りたいと思います。

青少年赤十字指導者協議会の皆様へ

日本赤十字社鹿児島支部
事務局長 橋口 秀仁



青少年赤十字指導者協議会の皆様には、日頃から青少年赤十字の普及・啓発や活動の充実にご支援・ご協力を頂いており、深く感謝申し上げます。

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、「気づき」、「考え」、「実行する」という態度目標の下に様々な活動を学校教育の中で

展開するものであり、優しさや思いやりの心を持って、自ら進んで人の役に立とうと思う、子どもたちの健全な「こころ」の育成に極めて重要な役割を果たしています。

四年目を迎えたコロナ禍の中で、令和四年度も、指導者協議会や賛助奉仕団の方々のご協力をいただきながら、各種活動を効果的・効率的に実施することができました。

一口トレセンでは、子どもたちが、グループワーク等を通じて交流を深めながら、自主性や主体性を高めていく様子が、また、三年ぶりの「NHK海外助け合い」街頭募金活動では、子どもたちが、大きな声で募金を呼びかけるなど積極性を身につけていく様子がそれぞれ見え、青少年赤十字活動の持つ意義をあらためて実感したところです。

県内の青少年赤十字加盟校(園)では、地域の実情等を踏まえながら、工夫を凝らした様々な活動が展開されています。県支部では、今後とも、青少年赤十字活動の活性化と活動内容の充実に努めて参りたいと考えていますので、引き続き、指導者協議会の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

小学校トレセン

意欲的な小学校トレセン

霧島市立大田小学校 森吉 研一

今年もコロナ禍のため、一日トレセンのみの実施となりました。

十一月に実施した小学校トレセンでは、夏休みのトレセンが中止になったこともあり、参加者十四名中十名が六年生でした。「赤十字と青少年赤十字を知り、生活に生かそう」というテーマでトレセンを行いました。驚いたことに、どの児童も意欲的に取り組み、学ぼうとする姿、協力したいという気持ちが前面に出て、活発な意見交換ができました。学習としては三コマしかないトレセンでしたが、一つ一つの活動で多くのことを学んでくれました。

児童のアンケートからも、建設的な意見や仲間が増えた喜びなどの記入が多く、嬉しく思いました。



中学校トレセン

中学トレセンを終えて

鹿児島市立郡山中学校 國生 宏子



残念ながら今年度も宿泊によるトレセンの実施はかないませんでしたが、新生徒会のみなさんに青少年赤十字の考えを生かして活動してほしいという観点から、例年、一月に実施していたト

レセンを、今年度は十一月に実施しました。ちょうど新しい生徒会組織が動き始めた時期であり、参加者は情報交換に、学びにとっても意欲的な姿勢で活動していました。トレセンのプログラムでは最後にワークショップを行い、他校の取り組みを参考にしながら、自校の取り組みをより充実させるためにはどうすればよいか、どんな工夫ができるか、自分たちの活動計画を立てるのですが、毎回、時間が足りないくらいに熱心に計画を立てています。

受付時の緊張した面持ちが一転、閉会式の頃は非常に穏やかな、そして晴れ晴れとした表情に変わっているのが印象的でした。今後の取組に生かしてくれることを大いに期待しています。生徒の学びを支えてくださったスタッフの先生方、ありがとうございます。

高等学校トレセン

夏トレセンを振り返って

鹿児島情報高等学校 宿口 泰伸

Afterコロナの考え方が進み、自分たちができることを探しながら活動しなければなりません。そんな中、「今後高校協議会として一緒に活動していくためにどのような活動ができるのか生徒と一緒に考えていきたい。」そんな思いを抱えながら今回のトレセンを企画しました。一日トレセンという限られた時間の中で他校の生徒との情報共有やワークショップを通じ、参加者それぞれが何かヒントを持ち帰ることができました。気づき、考えることができて、意欲がないと実行まで移せない。短い高校生活の中で何を学んできたかが重要になってきています。今後は生徒に「意志を持って実行できる」自信をつけることができる研修を企画していきたいです。



与論島トレセン

離島(与論)トレセンを振り返って

徳之島町立東天城中学校 高崎 武士



三年ぶりに開催できた与論島でのトレセンは、小中高それぞれの参加者があり、さらに与論町の方々のサポートや各学校から参観者があったこともあり、とても充実したものになりました。

それぞれのプログラムもベテランスタッフの経験と工夫が織り交ぜられた内容で、参加者の学びが深いものとなりました。

参加者の感想にも、赤十字のことや人道法、救急法のことを学ぶ中で、コミュニケーションスキルやリーダーシップについて学ぶ機会になったことに触れているものがあり、指導する側としてもとても充実感のあるトレセンになったと思います。

また、高校生をゲームリーダーとして行った「いえまですごろく」では小中高縦割りでのトレセン運営の可能性を見いだすことができました。

最後に、ご協力してくださったスタッフの先生方、そして与論町教育委員会並びに社会福祉協議会の方々に改めてお礼を申し上げます。



いちき串木野市立旭小学校 児童総務委員会

●全校児童の笑顔を求めて

本校は、一・二年単式学級、三・四年、五・六年複式学級全校児童二千五百名の学校です。全校児童における活動や行事が、とても多い学校です。また、縦割り班での活動も多く、レクリエーション(全校遊び)以外にも当番活動や清掃活動、そして登下校の班も高学年を中心に行っています。交通事故ゼロ、一万五百日を達成しました。

そのような校風のもと、総務委員会では、学校でみんなが笑顔になることを目標に様々な取組をしました。その取組の一つとして「笑顔カード」があります。このカードは、1か月に一回の割合で全校児童に「最近、笑顔になったこと」を書いてもらいます。それを廊下の壁に全児童分、笑顔の写真と、一緒に掲げます。みんなの笑顔の写真と、一緒に掲げることがうれしかったことが書いてあります。例えば、「○○さんの誕生日



だった」「○○先生と話した」「はやく走れた」など、それぞれが笑顔につながるエピソードが満載です。それを読みながら、みんなほっこりと温かい気持ちになります。友だちが、どんなことで笑顔になっているのかを知る機

会にもなっているようです。それをもとにお互いに、声をかけたり、励ましあったりしています。旭小

日置市立美山小学校

●笑顔の花

本校では、四月に総務委員会が中心となり、今年度の努力点を確認し活動しています。今年度の努力点は、「募金活動」と「朝のボランティア活動」を充実させることです。

二つ目の「募金活動」では、一学期に「ユニセフ募金」(二期に「赤い羽根共同募金」)に取り組みました。総務委員会がポスターを作成したり、給食時間に放送で呼びかけたりするなど、主体的な取組を行っています。

二つ目の「朝のボランティア活動」では、毎朝十分間、一年生から六年生までの縦割り班で、曜日ごとに校内の清掃や花壇の世話を行っています。環境委員会が、朝のボランティアで取り組んでほしい場所や方法を放送で知らせ、活動を促すようにしています。特に秋から冬にかけては、校庭がイチョウ等の落ち葉でじゅうたんを敷きつめたようになりますが、当番以外の児童も加わって多くの児童がほうきや熊手、一輪車を携え活動してくれています。異年齢で活動するので、上級生が手本になり、教えることで、下級生も一生懸命に活動し段々と上手になつていきます。



また、本校では縦割り班で、「地域清掃活動」も五月中旬に行っています。美山小ではこのように、一年生から六年生までの縦割り班を生かした活動を行いながら、児童同士が互いを思いやり、助け合うことの素晴らしさを感じ

じ、「笑顔の花」を咲かせる取組を推進していきたいと思います。

いちき串木野市立生冠中学校

●生冠中で行っていること

生冠中では、次のボランティア活動に取り組んでいます。ひとつは、朝の活動です。七時五十分から八時までの十分間、生徒会の生活部と本部で「あいさつ運動」を、整美部で「清掃」を、それぞれ校門付近で行っています。「生冠中・生福小あいさつ四ヶ条 一立ち止まって、二分から三大きな声で、四笑顔であいさつする」を意識してお互いの気持ちが明るくなるように心がけています。ふたつ目は、地域の活動に参加させてもらっています。地域の敬老会(コロナ禍で数年ありませんが)でお手伝いを、また地域で栽培している黒にんにく用いんにくの収穫(春)と植え付け(秋)を行います。

二時間足らずの時間ですが農作業の大変さを感じたり、生産する方々の思いを感じたりすることが出来ます。地元の方々に誇りに思えました。おいしい黒にんにくになって食べる人のもとに届くと思います。他には、生徒会で呼びかけて募金活動を行います。赤い羽根募金に取り組んだときは、生徒数が少なくなつた中でも募金額を前回より増やすことができて、みんなの気持ちなどがとても嬉しくなりました。限られた人数、時間の中で大きいことはできませんが、これからもうできることを少しずつやっていこうと思います。



また、本校では縦割り班で、「地域清掃活動」も五月中旬に行っています。美山小ではこのように、一年生から六年生までの縦割り班を生かした活動を行いながら、児童同士が互いを思いやり、助け合うことの素晴らしさを感じ

いちき串木野市立串木野西中学校

●一笑懸命

串木野西中学校では、「一笑懸命」をスローガンに掲げ、様々なボランティア活動に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

まずは、ペットボトルキャップ集めです。ペットボトルキャップを集めることで、世界中の子どもたちにワクチンを届けることができます。できるだけ数多く集めるために、学年対抗にしたり、一週間毎に数をチェックして学校全体に周知したりと様々な工夫をしてみました。今年度は、二二八九個、約五千個のペットボトルキャップを集めることができました。

次に、赤い羽根募金です。集まったお金は、私たちの町を過ごしやすく、より良い町にいくために使われます。各学級と職員室に募金箱を設置したり、朝のあいさつ運動で呼びかけたりして、生徒・教職員一丸となって取り組めました。

最後に紹介するのは、本校で「SCP」と呼ばれている活動です。スクールクリーンプロジェクトの略で、朝の時間を使って普段の清掃時間ではできないような場所を、全校生徒で掃除しています。これまでに、校内の窓ふきや校庭の石ころ拾い、草取り等をしてきました。一時間目から清々しい気持ちでスタートでき、学校も綺麗になる一石二鳥の取り組みです。



その他にも、登校中にゴミ拾いをして、生徒玄関で取集する活動や、普段お世話になっている地域に感謝する活動も行いました。今後も様々なボランティア活動に取り組み、地域と共に成長することを目指した活動に取り組んでいきます。

青少年赤十字誕生100周年



青少年赤十字は、青少年が人道の赤十字精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、一人一人が日常生活の中で、望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。

1922年に滋賀県の琵琶湖の近くにある「守山(もりやま)小学校」で、毎週金曜日に、実践目標の「奉仕」として、学校の畑で野菜を育てて、近所の人たちに配り、大変喜ばれる活動をしていた「少年赤十字団」が日本での青少年赤十字活動のはじまりといわれています。

鹿児島県では、昭和初期に小学校で青少年赤十字が結成されてから、令和5年3月1日現在470校(園)85,000人を超えるメンバーが登録されており、学校(園)周辺の清掃活動や募金活動、高齢者施設訪問などの活動を行っています。

青少年赤十字創設100周年・鹿児島県支部創立130周年記念 青少年赤十字100文字作文・絵画コンクール

今年度は、青少年赤十字創設100周年・鹿児島県支部創立130周年を記念して、「青少年赤十字100文字作文・絵画コンクール」を実施しました。

- <対 象> 絵画…県青少年赤十字加盟園(幼稚園、保育園、認定こども園)の園児
作文…県青少年赤十字加盟校(小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校)の児童・生徒

加盟校(園)数

(3月1日現在)

幼稚園(14) 保育園(27)
認定こども園(19) 小学校(269)
中学校(109) 義務教育学校(6)
高等学校(23) 特別支援学校(3)

計 470校(園)

★令和4年度新規加盟校(園)★

(3月1日現在)

【幼・保・こども園】城上幼稚園(1園)
【小学校】星峯東小学校 屋仁小学校
育英小学校 (3校)
【中学校】横川中学校
れいめい中学校 (2校)
【高等学校】鹿児島純心女子高等学校
れいめい高等学校(2校)

以上 計8校(園)

「100文字作文・絵画コンクール」支部長賞受賞者

<100文字作文コンクール> 支部長賞

小学校(低学年)部門「はじめての手わ」

鹿児島市立中洲小学校 1年 高橋 奈々心

小学校(中学年)部門「おばあさんをたすけた」

鹿屋市立高隈小学校 3年 西前 陽音

小学校(高学年)部門「私の責任」

薩摩川内市立蘭牟田小学校 5年 野村 美月

中学校部門

「私のできる小さなボランティア」

鹿児島市立谷山中学校 1年 佐藤 千春

高等学校部門

「誰かのためにできること」

神村学園高等部 3年 岩元 莉乃亜

<絵画コンクール>支部長賞

「だいすき!おともだち」

いずみ幼稚園(鹿屋市吾平) 鶴崎 史葉